

イラスト
コーナー



松本 彩加さん



本嶋 優衣さん



P.N. けるちゃん

イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、みなさんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼6歳ごろの写真(左)。木倉地区へ引っ越してくる前の甲佐町
での子供一枚。マフラー姿がキュートでちょっぴりおませなお嬢
さま風です。



まちへのラブレター

みなさんからの便りをご紹介します。

秋 になり息子とよく散歩に出かけます。近
所に子供と遊べる遊具のある公園がなく
て残念です。
(辺田見・Mさん)

そうですね…公園がほしいというご意見はよ
く聞かれます。子どもさんを安心して遊ばせら
れる場所があったら安心ですよ。現在、町で
は役場前のシンボルロード線と新国道44号
線の交差点にふれあい広場(公園)の建設を計
画しています。皆さんに利用していただけるよ
うに、住民の方の意見を取り入れながら進めら
れています。きつと安心して遊べる場所にな
ると思います。
(広報担当)

清 秋の候、19日の健康小5年生の学習田、
稲刈り作業の取材、暑い中にありがと
うございました。元気な子供達ですべて手刈り作
業、脱穀のお手伝いまで体験させていただきました。
八勢の皆様へ感謝です。広報みふねの記事楽し
みにしています。
(熊本市・Aさん)

お天気にも恵まれ、無事に稲刈りができて良
かったですね。地域の人や保護者の協力があっ
て大勢での米作り体験となりましたね。取材で
参加させていただきましたが、八勢の棚田に
ぎやかな声が響き、活気にあふれていました。
地域の皆さんのご協力があったからこそ体験活動
ですね。自分たちで育てたお米、食育にもつな
がっておいしく食べられることですよね。
(広報担当)

先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもころの
思い出を話してもらおうコーナーです。



上野保育園 小田 芳子 園長
(御船町木倉出身・57歳)

会いたいなあ…
あのころ あの時のみんなに

「飯田のみねの空深く清い真白い…」。
知る人は知る木倉小学校の歌い出しです。
わたしはこの歌を6年の時に代表で、男子児
童と二人でテープに吹き込みました。それか
ら卒業後も三分の間、行事の度に、校庭にス
ピーカーから流れて、人知れず心地よかつた思
い出が蘇ります。その当時からさかのぼるこ
と6年前の春、今の地に引っ越して、小学校へ
入学しました。両親は共働きだったため、わ
たしたち兄弟の面倒、授業参観から家事まで、
伯母がお世話してくれました。特にわたし
はかわいがつてもらい、服もたくさん縫つても
らい嬉しかったですね。当時は、ご家庭も
子どもの声が響き、よく缶蹴りをして遊んで
いました。夕方になると「飯よ」と呼ばれ
る声に、「おばちゃん、今日のご飯何ね」と聞
くのが日課でした。近所も家族もにぎやかだ
つたあのころが、きつと一番好きだったそんな時
代のような気がします。

文芸 句の一枚



4区水源

田代地区の田代東部分館広場で開かれたスポーツフェスタ
には、6つの区から元気な選手団が勢揃い。そのなかでもひ
ときわ大きな声援と笑い声が響いていたのは南田代第4区
と水源の合同チーム「4区水源」。気づけば見ているこちら
まで笑顔に。いつまでもお元気でいてください。

短歌

今日のメニューの南瓜の煮しめ作りつつ主食でありし遠き日徳ぶ
頂上を霧にかくせる高岳の涼風受けて草千里ゆく
北村やよい
古閑喜美子
蝉の声途切れがらなる昼日中季節知るか夜は虫の合奏
平野 文子
在りし日の夫と想いし栗木陰はるかな空を雲流れゆく
藤本 京子
旺盛に桑食む蚕にひかされて給桑続けぬ終戦の日も
正宗タツ子
(終戦の放送があった後、蚕はそのままにして逃げ出す人が多かった)
白壁は昔ながらの佇まい旅のしばしをタイムスリップ
山本志満子
万緑の阿蘇のパノラマみはるかす我がうつつ身もみどりに染まる
市川 結子

俳句

食べごろの通草を提げて山下る
坂田志美子
悠久の匂ふ木犀老木樹
丹生 則子
石橋の隙間に小さき楹紅葉
緒方 新
絵手紙の赤鉛筆よ秋の山
緒方 宣子
群がるも一本もある彼岸花
常石 和子
秋風や近づけば寄る檻の猿
渡辺ケイ子
秋風に誘はれながら行く山路
守田 律子

肥後狂句

鍋の中 遅刻組には猪が逃げ
増永 笑和
やめどかし 言うどガツクリ来られそう
坂本 周礼
さわがしい 昼寝もでけん蝉の声
平野 千鶴
小銭入れ 昼の食事はワンコイン
鳥井 蘭
こつばげて すっぱんよりも無細工か
江藤 お竜
大あくび ようよ終った三部経
吉田 楽園
屋下がり 夢とドラマが混り合い
河地 ゆき
なれたもん 媽のいびきももぞらしか
作田 お光

一般投稿

赤信号 一句も捨れず 青になる
内村 孝子
(常々、青信号になるまでは時間が長々しく感じてた信号機、
考えているうちに青に変わりました)